



「蛍光バイオイメージング・ミニシンポジウム」 のご案内

2008年の下村先生のノーベル賞受賞に象徴されるように、近年の基礎医学研究、疾病研究の現場において、イメージングの役割やイメージングへの期待がますます高まっています。

本シンポジウムでは、イメージングの応用、製品技術などの最新情報をご紹介していただき、活発な意見交換の場としたいと存じます。

日時： 2012年8月8日(水) 14:00-17:30 (シンポジウム)

場所： 北海道大学 電子科学研究所1F セミナー室1-3

2012年8月9日(木) 10:00-12:00 (超解像顕微鏡デモンストレーション)

場所： 北海道大学 電子科学研究所 ニコンイメージングセンター

内容：

1. 細胞内小胞輸送の古典的解析から、動的イメージングをめざして
東北大学 加齢医学研究所 免疫遺伝子制御研究分野 佐竹 正延 教授
2. 生命現象の力学的再解釈 - 新しい観点で組織、細胞、分子を見る
東北大学 加齢医学研究所 神経機能情報研究分野 小椋 利彦 教授
3. ガン研究における今後のバイオイメージングの課題
北海道大学 大学院医学研究科 分子生物学分野
医学部連携研究センター 光バイオイメージング部門長 佐邊 壽孝 教授
4. 二光子励起顕微鏡によるin vivoイメージングの展開
北海道大学 電子科学研究所 光細胞生理研究分野
ニコンイメージングセンター センター長 根本 知己 教授
5. 最新のイメージング機器ご紹介(超解像顕微鏡、高速共焦点など)
(株)ニコンインステック アプリケーション技術部 及川 義朗
光学解像度の限界を超えた超解像顕微鏡N-SIMの技術のご紹介に加え、超高速スキャンング、光刺激、スペクトルイメージングなど、ニコンの共焦点顕微鏡A1の技術、in vivo応用例などを紹介します。

主催：電子科学研究所研究支援部
ニコンイメージングセンター

共催：株式会社ニコンインステック

お問い合わせ：

(株)ニコンインステック 札幌営業所 藤田 亮
〒060-0051

札幌市中央区南1条東2-8-2(SRビル8F)

電話(011)281-2535

